

日本銀行金融研究所 貨幣博物館 展示概要 解説シート



日本橋にある日本銀行貨幣博物館の前の通りは、2005年に江戸桜通りと命名されました。春には日本銀行本店本館を背景に桜並木をお楽しみいただけます。

そして今年の春、本館は竣工130周年を迎えます。その図面や明治期の日本銀行の錦絵や写真、そして桜と共に描かれた日本橋にあった金融機関の建物の錦絵をご紹介します。

にちぎん本館誕生！

日本銀行本店新店舗の設計を委ねられた辰野金吾(1854-1919)は海外の中央銀行などの建築を視察した。当時の専門雑誌には「各国の中央金庫」の進歩したところを折衷した建築で、地上部分は「建築の完美なる」ベルギー国立銀行、地下はアメリカの「大蔵省金庫」、「全体の建築」は同じ地震国であるイタリアの建築を採用し「一層の改良をなしたる」と書かれている。



大日本帝国政府日本銀行全景
1896年 三代歌川国貞

詞書に「…構造ノ堅牢萬國ニ冠タリ」と構造が世界の中でも優れていることが書かれている。

日本銀行本店本館 国指定重要文化財 1974年
辰野金吾設計

着工：1890年 竣工：1896年
構造：石積・煉瓦造、3階建地下1階
古典主義建築
工事監督：辰野金吾 工事主任：岡田時太郎
製図主任：葛西萬司 建築主管：安田善次郎
施工：分割請負

辰野金吾の欧米中央銀行等の視察と設計

「日本銀行の新築 建築の由来」より

前述べたる如く各國の中央金庫を折衷したるものあれば當時世界に於ける銀行中最も進歩改良したる建築なれど其地中室は重に米國の大蔵省金庫を模型としたるものにして地上は白耳義の中央金庫に則るところ多く又全體の建築は地震に逢ふて害を受けざるに注意したれば此點に就ては以太利の建築を採用して尙は一層の改良を爲したるもの多しといふ

(以下次號)

(中略)

跡へ開業するや其當時より既に新築の内談ありしも愈々之を建築するに決したる明治廿年の頃にして其時の總裁は之を工學士辰野金吾氏に謀り展々設計目論見書を造りたれども日本銀行の業務たる名は一の株式銀行あるも其實は天下の中央金庫なれば輕々に工を起して後に不都合と生ぜしむべからざるを以て辰野氏は各國を巡遊して中央金庫建築の模範を取調ふるに決し先づ米國に渡り華盛頓の大蔵省金庫を一覽し夫より歐洲各國を廻りて英國銀行、佛蘭西銀行等を始め殆んど列國の有名なる銀行は皆見盡したるが其中最も建築の完美あるものは白耳義の中央金庫あるも小國の金庫あるゆゑか規模小に過ぎて未だ模範とするに足らず又英國銀行は其の規模大なるも如何にせん數百年前の建築に建増したる者なれば其建築法少しも模範とする能はず佛國の銀行も亦同様僅に一層の建築あれば今日の用に適せず遂に何れの中央金庫も以て模型と爲し難きに依り辰野氏は彼此相折衷して一の設計を爲すに決し英國倫敦に於て造りたる繪圖面こそ即ち今日の建築を目論見たる基にして其當時の設計に依れば總建築の費用

(前略)



竣工した年の様子
『新少年』21 (1896年11月)より NDL蔵



竣工数年後の様子
『実業評論』27 (1901年3月)より NDL蔵

『日本銀行建築譜』など一部本解説シートに掲載していない展示資料、および日本銀行本店竣工までの関連資料や詳しい経緯については辰野金吾没後100年特別展「辰野金吾と日本銀行 ―日本近代建築のパイオニア―」の展示図録(主にp.16~34)をご覧ください。

▼PDFでご覧いただけます。



『工業雑誌』1896年4月 NDL蔵

にちぎん本館誕生！ 着工からの歩みと落成式

日本銀行の新店舗は 1896 年 2 月 29 日に完成し、3 月 10 日に辰野金吾立ち会いのもと理事 2 名などに引き渡しを行った。落成式は 3 月 22 日に皇族や役人など数千人を招き行われた。4 月 10 日に本店は永代橋から日本橋の新店舗へ移転した。



日本銀行落成之図

1896 年 5 月 8 日印刷 5 月 11 日発行
篠原清興

落成式にあたり、緑門で外周が飾られた様子が描かれている。
日本人建築家による最初の国家的近代建築となった日本銀行は名所化し、数々の絵画が描かれた。この作品は落成式から 1 ヶ月半ほどで作られ、ニュース性を加味した名所絵として売り出された。



落成式の緑門 1896 年 3 月 『新少年』14 (1896 年 8 月) より NDL 蔵

落成式の準備の様子 当時の新聞記事に書かれた緑門

日本銀行大祝宴の準備 1896 年 3 月 20 日

常盤橋なる日本銀行ハ 来る 22 日新築落成の大祝宴を開くに付き同行にてハ 昨今其の準備に忙はしく装飾の壮なること 近來無比なりといふ 今其模様を間に…(略)…

其正面の入口なる駿河町の方にハ同行の建築と同じ高さなる楼門形の緑門 1 個 穹形の緑門 3 個を設け 河岸の方ハ常磐橋に面して楼門形の大緑門 1 個を設け 本町通りの方ハ河岸近く楼門形 1 個穹形 2 個を設けたり 其数総べて 7 個 各門の間ハ一面に緑葉にて囲みたる柵を築き 何れも既に大抵出来上りたり 次に未だ取外さざる板塀の部分ハ 本町より金吹町両替町に連なり三面五六町に亘る間総べて緑葉にて包む計画にて…(略)…

読売新聞

原文の数字は漢字、それ以外は原文ママ

2 列目中央
設計・工事監督
辰野金吾



最前列中央
第 3 代總裁
川田小一郎



20 世紀初頭の様子

中庭での落成記念写真 1896 年 3 月



日本銀行金融研究所アーカイブ蔵

明治期のにちぎん 前庭の様子

日本銀行本館前の前庭の明治期の写真には杉などと考えられる常緑樹が見られる。錦絵で本館前に描かれた桜は、名所絵として華やかさを演出したと考えられる。現在の本館前の桜並木は2005年に植樹された。



◀ 建設中の三井本館



名所絵として描かれた日本銀行
「東京名所 日本銀行」1899年

1896年に竣工した日本銀行本店前を行き交う人びとと桜。
右奥には建設中の煉瓦造りの三井本館が見える。
明治期の名所絵は実際の景色とは関係なく、桜と共に描かれることが多かった。



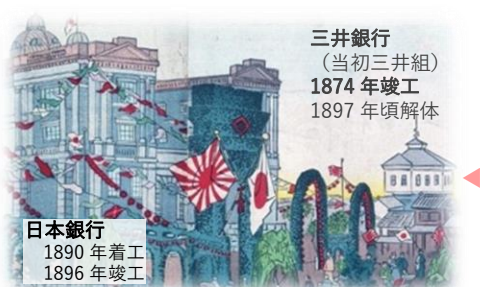
日本銀行新店舗 竣工間もない頃の前庭の植栽

1890年代後半

右奥には日銀竣工後間もなく着工した三井本館の鉄骨の骨組み



日本銀行に隣接する近代三井建築のあゆみ



「日本銀行落成之図」より



三井本館

日本銀行



2005年の桜の植樹

日本銀行本店本館前の通りに2005年にソメイヨシノが植えられ、「江戸桜通り」と命名された。その前はナナカマドが街路樹として植えられていた。
本店東側の日銀通りにも桜の植樹が進められ、日本橋一帯で桜を楽しめるようになった。



日本銀行

三井本館

1896年着工
1902年竣工
1923年震災被災、解体へ

三井本館 (初代) 横河民輔設計
地上4階・地下1階、国内初の鉄骨構造



現在

三井本館 国指定重要文化財
1926年着工 1929年竣工
鉄骨鉄筋コンクリート造
アメリカの会社の設計・施工

▼PDFでご覧いただけます。



日本銀行を中心とした日本橋川沿いの明治期の金融機関の建物の写真などについては、にちぎん140周年企画展「水辺の風景と日本銀行 日本橋川と中央銀行誕生までのあゆみ」の展示図録(主にp.32~39)をご覧ください。

竣工後、約 30 年を経ても東京名所

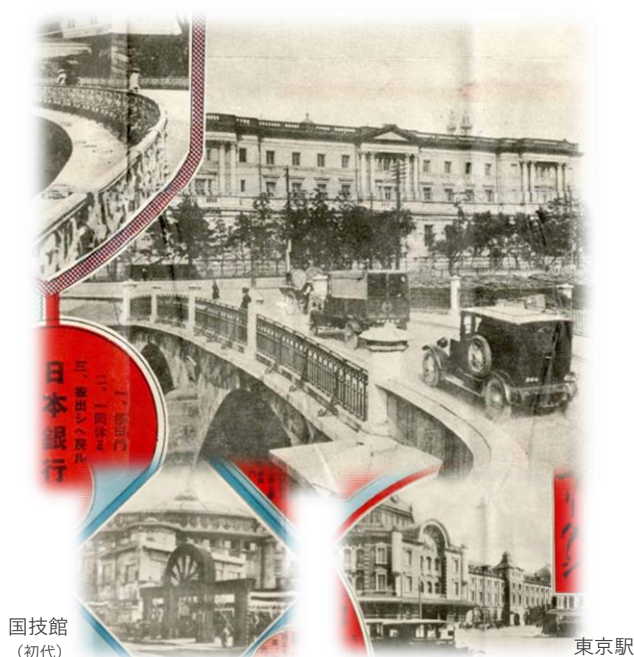


東京名所見物双六

1924 年 1 月発行

日本銀行のコマでは日本橋川（外堀）に架かる常磐橋手前から西壁面の日本銀行が撮影されている。竣工から約 30 年を経ても都内で名所として認識されていたことを示す。関東大震災すぐ後の発行であるが、写真は関東大震災前の東京の様子。

同じ辰野金吾の建築である東京駅と国技館も名所として掲載されている。



国技館
(初代)

東京駅

明治期のにちぎん 建物の中の様子

日本銀行本店本館は、日本人建築家による最初の国家的近代建築としてその外観の壮大さなどから、数々の名所に描かれ、外観写真の絵葉書も多く作成された。

日本銀行本店内の様子

『グラフィック』1 巻 1 号、1909 年 1 月より

明治後期に創刊した写真雑誌の創刊号で、2 頁を使い日本銀行内部や松尾臣善総裁・高橋是清副総裁などの写真、また本店同様に辰野金吾が設計した大阪支店(1903 年竣工)と京都支店(出張所、1906 年竣工)の外観も掲載されている。



主要参考文献

- 貨幣博物館 展示図録 辰野金吾没後 100 年特別展『辰野金吾と日本銀行 ー日本近代建築のパイオニアー』2019 年
- 貨幣博物館 展示図録 にちぎん 140 周年企画展『水辺の風景と日本銀行 ー日本橋川と中央銀行誕生までのあゆみー』2022 年
- 上記図録巻末の参考文献

日本銀行金融研究所貨幣博物館 テーマ展「にちぎん本館誕生！日本橋・江戸桜通りへようこそ 2026」展示概要 解説シート

会期：2026 年 2 月 17 日ー5 月 24 日 担当学芸員：関口



展覧会 HP

本解説シートの情報(文字、写真等)の無断転載・複製を禁じます。